

【主題名】 じぶんのよさ 【個性の伸長】 低A－（4）		【教材名】 「あなたってどんな人？」（「いきるちから1」 日本文教出版）
【本時のねらい】 人には様々なよさがあることに気付くことで、自分が得意なことや苦手なことは何なのかを考え、自分の特徴に気付き、それを大切にしようとする心情を育てる。		
【指導の要点】 友達と比較して特に目立つ点を自分の特徴と捉え、その特徴は他者からの評価によって気付くことが多く、児童がそのことを自分自身で実感することで気付きがより確かなものとなる。本時では、友達から自分のよさを教えてもらうことによって、自分の特徴（長所）に気付くことができ、自分のよさを伸ばそうとする意欲づけをする		
【主題に関わる児童の実態】 本学級の児童は、困っている友達に対して優しく声掛けができ、頑張ろうと努力する気持ちの強い児童が多い。道徳意識調査では、「自分には、よいところがあると思う。」の項目において、肯定的回答率が70.5%（12名）となっている。一方、「よいところがない。」と感じている児童が5名もいる。その背景として、①厳しい家庭環境に置かれている。②友達や兄弟と比べて「わからない、できない」と感じている自分がある。③家族から、怒られたり叱られたりすることが非常に多く、褒められたり認められたりした経験が少ない。の3点が考えられる。		【授業を通して引き出したい児童の考え】 ・一人一人得意なことは違うんだな。 ・よいところ（がんばっているところ）と苦手なところの両方がある。 ・友達のよいところをまねしたら自分もよくなる。 ・自分もできるようになりたい。 ・自分のいいところをもっと増やしたいな。 ・自分のいいところを大切にしたい。 ・私にも、こんないいところがあったんだな。 ・いいところは、ないと思っていたけど友達や先生に見つけてもらって嬉しかった。
指導上の工夫		板書計画（ポイントのみ）
自分自身との関わりで考えるための工夫	本時の問いを「自分ってどんな人かな」とすることで、自分の特徴を意識しながら教材に入り、登場人物と自分を比べる等してより自分事として考えられるようにする。	
多面的・多角的に捉えるための工夫	自分で自分の特徴に気付くことはこの段階では難しい。友達や先生からいいところを教えてもらう活動を仕組むことで、自分自身の特徴（いいところ）について気付かせる。	
【評価】 人には様々なよさがあることに気付き、自分が得意なことや苦手なことは何なのかを考え、自分の特徴に気付き、それを大切にしようとしている。		
授業の評価の観点	登場人物と自分を比べる等してより自分事として考えられるような声かけや、問いかけがあったか。（自分自身） 友達や先生からいいところを教えてもらう活動等の中で、児童が気付かなかった（改めて分かった）自分のよさについて気付かせるような声かけや問いかけがあったか。（多面的・多角的）	
児童の評価の観点	友達や先生からいいところを教えてもらう活動を通して、気付かなかった（改めて分かった）自分のよさについて考えることができたか。（多面的・多角的）（自分自身）	

【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	予想される児童の反応
導入	1. 教材名を記し、自分にはどんな友達がいるか考える。（3分） ○みんなには、どんな友達がいますか。 ◆それはどんな友達ですか。	・おもしろい。 ・楽しい。 ・読書好き。 ・水泳が得意。 ・走ることが速い。
展開	2. 教材について話し合う。（17分） ○「ぼく」の友達はどんな人でしょう。（7分） 【まさとくん】【ほのかさん】について聞く。 ・紙芝居にして一人ひとり順に追っていく。 ・挿絵の様子から、友達の特徴をつかませる。 ○二人を見て気付いたことはないですか。 ・誰にでも「よいところ」と、そうでないところがあることを認め合えるようにする。 【つばさくんとおおいさん】について聞く。 ○どうしてまねをしようと思ったのですか。（10分） ◆この二人のいいところは、どんなところだろう。 ・「まねをしたくなる」ようなことは、その人の良さにつながっている。 3. 友達のよさを考え、自分を振り返る。（20分） じぶんってどんな人？ ○友達同士でお互いのよいところを見つけて伝え合ひましょう。 ・あらかじめ、決められた児童にカードを書く。 ・教師もよいところを書いたカード用意しておく。 ・「ほめ言葉」の支援カードを用意しておく。 ○伝え合ひをして、どんな気持ちになりましたか。	【まさとくん】 ・あわてんぼう。 ・忘れ物が多い。 ・ノートを忘れて怒られている。 ・友だちに優しい。 ・親切。 ・声をかけている。 【ほのかさん】 ・ピアノを弾くのがとても上手。 ・練習を頑張っている。 ・水泳が苦手。 ・よいところも苦手なところも両方ある。 ・よいところは一人一人違う。 【つばさくんとおおいさん】 ・あいさつができる。 ・協力して掃除をしている。 ・良い行動だから ・ほめられることをしているから。 ・誰にでも「よいところ」があるな。 ・友達のよいところは、ぼくもできるようにしたい。（まねをしたいな。） ・いいところをまねしたら、自分もよくなる。 ・自分にもよいところがあるとがわかって、うれしかった。 ・自分がどんな人か少し分かってうれしい。 ・褒められて、気分が良くなった。 ・よいところを増やしたいと思った。 ・自分のいいところを大切にしたい。 ・友達のよい所を見つけていきたい。
終末	4. 本時の振り返りをする。（5分） ワークシートに自分の考えを記入することを通して、今日の学習について振り返る。	